まちかど情報局

内割田支援グループ 資源回収お助け隊

今回は、困りごとに対する地域発信の活動として新聞でも紹介された「内割田支援グループ資源回収お助け隊」（木曽川町）からお話を伺いました。

Q. 内割田支援グループ資源回収お助け隊とは?

毎月第2月曜日資源回収日の前日に、1人暮らしの高齢者や赤ちゃんを育てている方など遠い集積場所まで行けない方を対象に回収を行っています。

Q. 発足のきっかけとは?

去年、資源回収の立会いをしている中で、自分の地域の高齢者の方が遠くから持ってきているのを見て、大変さが良く分かりました。また、持参できない人が、たくさんいることにも改めて気づき、何かできないかと思いました。

Q. 活動していく中で感じたことは?

・利用者の方や会員同士でも話すことで、地域の中でコミュニケーションが広がったことが良かったと思います。
・平成26年6月に地域の方に声かけを行い、7月から初めて活動を行っていますが、活動を始めるにあたって民生委員の方と1人暮らしの方の訪問を行い、町内コミュニティや回収資源に対する課題が見えてきた事は大きな成果でした。
・活動を継続するにあたって、若い方が参加して下さることが心強いです。
・手作りのオレンジ色の横断幕とリヤカーをひいていくことで、このような活動があるというPRになり、町内の方に安心してもらえると思います。

Q. いま困っていることは?

現在、リヤカーをご厚意で貸して頂いていますが、だんだんと老朽化してきますので、お譲りいただける方がおられましたら、ご連絡いただければと思います。（木曽川支部　TEL 87－2000）

活動の様子

代表の篤永さんは、常に「カ（感動）キ（興味）ク（工夫）ケ（健康）コ（向学心）」の実践をしているそうです。地域の中で自分ができる事は何か、そして続けることの大変さや大切さをよく理解して活動をされているのだと思いました。自分が住んでいる地域にどんな方がいるのか（顔が見える）地域づくりの1つの形ではないかと思います。
今後の活動に注目していきたいと思います。

おすすめふくしの本　おはなみ

くすのき しげのり / 作　まるやま しげこ / 絵
あかね書房

大きなサクラの木がある公園の春は、お花見でにぎやか。日曜日の朝、ハルトは花見のゴミをかたづけているミキとおばあさんに会います。「人の出したゴミをかたづけるの?」と不思議がるハルトにおばあさんは、「人がサクラを見ているだけじゃなく、サクラも人を見ていると思う」と答えます。その言葉でハルトもそうじを手伝い始め……。

美しい描写とともに、自然を大切にする子供達の姿と、それを見守る大人の姿が印象的で、年齢を問わずに気持ちが温かくなる絵本です。

もうすぐお花見シーズン到来。ぜひお子さんと一緒に読んでみてください。